測度論的確率論 2018 S1S2

Homework 8

経済学研究科現代経済コース修士 1 年 / 池上 慧 (29186009) / sybaster.x@gmail.com June 23, 2018

- $1\quad 2.2.1$
- $2 \quad 2.2.2$

$$E\left[\left(\frac{S_n}{n}\right)^2\right] = \frac{1}{n^2} \sum_{1 \ge i, j \ge n} E\left[X_i X_j\right]$$

である。 コーシーシュワルツの不等式より、 $E\left[X_{i}X_{j}\right]\leq\left(E\left[X_{i}^{2}\right]E\left[X_{j}^{2}\right]\right)^{\frac{1}{2}}=r(0)$ である。また仮定より、

$$\forall \epsilon > 0, \exists K > 0 \text{ s.t. } k \geq K \implies r(k) < \epsilon$$

である。これより、 $|i-j| \leq K$ に対しては $E[X_iX_j] \leq r(0)$ とし、|i-j| > K に対しては $E[X_iX_j] \leq \epsilon$ で抑えられる。 すなわち、

$$\frac{1}{n^2} \sum_{1 \ge i, j \ge n} E\left[X_i X_j\right] \le \frac{1}{n^2} \left(n(2K - 1)r(0) + n^2 \epsilon \right) = \frac{2K + 1}{n} r(0) + \epsilon$$

である。K は n に依存しないので $\lim \frac{1}{n^2} E[S_n^2] \le \epsilon$ である。従って 0 に L^2 収束するので 0 に確率収束する。

- 3 2.2.3
- 4 2.2.4
- $5 \quad 2.2.5$
- 6 2.2.6

フビニの定理より E[X] は以下のように変形できる。

$$E[X] = E\left[\sum_{n=1}^{\infty} 1(X \ge n)\right] = \sum_{n=1}^{\infty} E[1(X \ge n)] = \sum_{n=1}^{\infty} P(X \ge n)$$

また同じくフビニの定理より、

$$E[X^{2}] = E\left[2\sum_{n=1}^{X} n - X\right] = E\left[\sum_{n=1}^{\infty} (2n - 1)1(X \ge n)\right] = \sum_{n=1}^{\infty} (2n - 1)P(X \ge n)$$

を得る。